

事業所名 CoCo

支援プログラム（児童発達支援）

作成日 令和7年2月24日

法人（事業所）理念		日常生活においての「楽しかった!」「できた!」という思いを大切に」を基本理念とする	
支援方針		何が得意か、何に興味があるのか、どういった事が苦手かを毎日の活動の中での様子を見たとえで支援の方向性を検討し、身体機能の向上や生活面の自立、社会への適応など一人ひとりの可能性を引き出します	
営業時間		9時 30分 から 17時 30分	送迎実施の有無 あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 心身の状態把握に努め、将来像を見据えながら、持ち物の準備や片付け・食事・排泄・着脱・清潔に関する日常生活動作の習得を目指します 主たる保育園等の生活リズムを崩さないように、療育時間の配分（頻度・曜日・回数）を考慮しつつ、適切な日中活動量を工夫する 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合の視点を取り入れた運動（マット・トランポリン・トンネル等）を行うことで、身体を動かして取り組める活動を増やすことに繋げていきます 運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な身体感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します（身体をコントロールするだけでなく、気持ちやテンションのコントロールにも繋がります） 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 職員が遊びのモデルを見せたり遊びに誘いかけることで、遊びに意識を向けたり遊び方を知り「やってみよう」と興味を持てるようにします。 職員が合図を出したりタイミングを合わせる瞬間を作ったりしながら一緒に遊ぶことで、簡単なルールを意識出来るように促します 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉と動作が結びつくように、本人の動作に簡単な言葉を添えて伝え、場面に合わせたことばの理解や表出に繋がります 伝え方を示すことで、他者への伝え方を知り、自発的に伝えていける力に繋がります 言葉だけでなくジェスチャーや言語/カードなど、一人ひとりに合った方法を考え支援します 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい遊びなどを通して、他者と遊ぶ楽しさを感じれるようにします 遊びの中で出来た時にハイタッチをしたり褒めることを通して、他者を意識したり関係性を作る事を支援します 少人数活動の中での並行遊びや職員は介入して行う連合的な遊びを通して、他児を意識できるよう徐々に社会性の発達を支援します SST(ソーシャルスキルトレーニング)を用いて、「順番交代」「役割」「ルールを守る」「指示に沿った行動をする」など社会に適応する為に必要なスキルを支援します 	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談や悩みに対してのアドバイスを行う 家族と交流会の実施 送迎や連絡帳を活用し、活動の様子を共有 	移行支援 <ul style="list-style-type: none"> 就学など切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援 保育園等や関係機関との情報共有
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 関係する関係機関や相談支援事業所に様子の報告や情報共有を行い、密な連携を図る 地域イベントへの参加 	職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> 虐待防止に関する研修に参加 外部研修 社内研修 事業所内会議
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> お誕生日会 ・季節に沿ったイベントを開催（クリスマス会、夏祭りなど） ・外出（公園や図書館などの公共施設） ・プール ・水遊び 避難訓練 	